

鉢本

果樹栽培の棗

福岡縣立農事試驗場

特100

465

正元年十一月



始



特100
465

果樹栽培の棗

目次

(一)	はしがき	一頁
(イ)	規模の廣狹	一
(ロ)	土地の選定	三
(ハ)	需用地の關係	三
(ニ)	産業組合	四
(ホ)	苗木の購入	四
(三)	類	五
(イ)	梨	七
(ロ)	桃	二
(ハ)	葡萄	二四
(ニ)	柑	二七
(ホ)	柿	二八
(ヘ)	枇杷	二二



〔一〕	無花果、……………	三二
〔二〕	李、……………	三三
〔三〕	苹果、……………	三四
〔四〕	櫻桃、……………	三五
〔五〕	風土、……………	三六
〔六〕	植付方、……………	三六
〔七〕	地拵、……………	三六
〔八〕	植付時期、……………	三六
〔九〕	植付距離、……………	三六
〔一〇〕	植込法、……………	三六
〔一一〕	肥料、……………	三〇
〔一二〕	剪定、……………	三五
〔一三〕	摘果、……………	四〇
〔一四〕	袋掛、……………	四一
〔一五〕	病蟲害驅除豫防、……………	四一

○果樹栽培の棗

〔一〕はしがき。

農家の副業を發達せしめて農村の經濟状態を豊かならしむるは刻下の急務である、而して果樹栽培の如きもこれが目的として有利の一であるから尙々大に發展せしめなければならぬ、殊に本縣は鑛山、工業地も多く加ふるに門司の港門を有して居るので其需用額は夥しいにも係らず目下ではこれを充すことが出來ないので管外地方から輸入するのは年々四五十萬圓を以て算するのである。

勿論斯業は近時漸く世人の注目する所となつて追々これが栽植するものも多きを加へて來たが然しこれを經營する上に於て注意せぬと徒らに流行の弊に陥つて却て失敗を招くことゝなるのである。

(イ) 規模の廣狹。

一体同じく園藝とは云へ蔬菜園藝と果樹園藝とはこれが經營上大なる相

違のあるもので果樹は皆多年生であつて收穫を得るまでには數年を要するが常であるから果樹園を造る爲には其收穫を見るまでには多大の資本を固定せしめねばならぬし、尙この固定資本の維持には多くの資本を要するし、この固定資本を償却するにも多少の年月を費さざるを得ぬのである、又果物と其品質とに對しては世人の嗜好の變遷を來たすもので、永年作たる果樹の更新は容易でないからこの變化に追隨することは極めて困難である、其他勞力の分配上、又特別の熟練と注意を要する上などより見ても、小面積と同じ比率で大規模にも収益があると云ふものではない、果樹栽培の如きは普通大經營にて利益を擧ぐべき望あるものではない。

實に果樹園藝は單獨經營は困難である、果樹園藝は助くるに穀作其他の栽培などを以てすべきである、普通の農家はこれが栽培を以て餘業とするが適當である、農家の副業として一、二、反歩多くも五反歩以下の栽培が最も有利である。一村に二三の大果樹園の存在するよりも假令面積小

なるも一村悉く果樹を作ると云ふ方が望ましいのである、現に廣島縣の西條柿や、東京府近在の禪寺丸柿などは名産地のものとして有名であるが是等は決して柿の大果園を有する爲めでなく、實際彼の地に行つて見れば何地が産地かは分らぬ位で單に屋敷の周圍や其他の空地を利用して栽植して居るに過ぎないのであるがこれが各戸に亘つてあるから是等が集つて多額となり遂に一町村、一地方と名産となり率いて本邦の名産地とまで稱せらるゝのである

(ロ) 土地の選定。

本縣は元より米麥作本位であり其他の畑作物地も多いが尙未墾の山畑や或は空地中にも果樹に適する處も多いのである、本場て調査した大体の結果によるも果樹栽植の見込ある土地は縣下を通じて千町歩を以て推定さるそれで先づ斯る所を選んで果樹の性質と土地の經濟上などから見て其地方に適切な種類を栽植するがよい。

(ハ) 需用地の關係。

果實の中には柑橘類の如く或は貯藏に堪へ遠路の輸送に適するものもあ
るが又桃、葡萄、無花果などの様にこれと反対で、つまり其販路の區域
が狭少のものもある、是等はなるべく需用地から餘り遠くない處で栽培
するか或は然らざる場合には果物の利用策を講ずる必要がある。

(ニ) 産業組合。

果樹栽培も一の營利の目的であるから、なるべく純益の多からんを望む
には一方栽培上の改良、技術の熟達は大切であるが、然し他方少費多額
の手段方法を究むるが肝要であるこれが機關としては即ち産業組合に依
るべきで、或は生産組合なり、購買組合なり、販賣組合なりを施設して
種苗、器具肥料等必要品の購入、生産物の販賣の便を計つて其利の増進
を計るべきである。

(ホ) 苗木の購入。

苗木は普通自家で養成すること少く購入することが多いから充分に注意
して、品種の確實な、病虫害の被害ない健全にして適當大なる善良の苗木
を求めねばならぬ前に述べた様に果樹は多年生で一度栽植したならばこ
れを更新することは困難のものであるから殊に苗木の選擇は大切である
、世には往々不良の苗を買求めて損害を蒙つたこともあるから苗木を購
入する場合には必ず信用ある商店から求めねばならぬ。

(二) 種類。

果樹には其種類や品種は多くて各特性により風土の適否、栽培の難易、樹勢
の強弱、熟期の早晩、結實の豊凶、品質の優劣、貯藏の耐否、及需用者の嗜
好程度等を異にし加ふるに他の普通の作物と相違して多年生であるから一度
栽植したならこれを變更することは容易でない故殊更に種類品種の選擇を誤
らざる様にせねばならぬ、それで本場試験を参照して縣下に適すべきものと
認むるものは次の類である。

梨 眞銚、獨逸、長十郎、早生赤、今村秋、晚三吉、

「パートルレット」、「ヂュツセス」、ダングレーム」

桃〓「アムステルダム、ジュールン」、天津水蜜桃、離核水蜜桃、

上海水蜜桃、「プレコーズ、ド、クロンセル」(油桃)、

葡萄〓「ジエツシカ」、「レデー、ワシントン」、「チャンピオン」、

「キャンベルス、アーリ」、「ペーコン」、「ハイランド」、

「ダイアナ」、「スウキート、ウオーター」

柑橘〓温州、「ワシントン、ネーブルオレンジ」

「パレンシヤ、レート」、夏橙、

柿〓衣紋、西條、葉隠、甲州百日、横野、蜂屋(以上澁柿)

富有、次郎、元山(以上甘柿)

枇杷〓田中、茂木、立花、

無花果〓「ホワイト、セノア」、「ブラオン、ターキー」

李〓寺田、萬世、米桃、

苹果〓紅魁、祝、

櫻桃〓「ナポレオン、ピカルロー」、「ピカルロー、グラン」、

(イ) 梨。

一、眞鍮〓樹性强健、枝梢小花芽の着生長く時に伸長を妨ぐることある、
四月中旬頃開花し七月下旬頃採果す果實は小稍扁圓形で果皮黄赤色に
して滑かなり、果肉は白色質稍粗なるも酸味少く漿液多く香氣あり品
質良好で三年目頃から結實し一個十匁の重量を有す各種の整枝に適
する、苗木は多少彎曲性で伸方長く節間比較的長く樹皮は濃緑褐色、新
梢は帶赤茶褐色に斑紋太く芽は小で扁平爪狀を呈して樹皮に接着す。

一、獨逸〓樹性强健で枝梢小、花芽の着生長好で伸長は少い、強度の整
枝は樹勢を萎縮さすことがある、四月中旬に開花し八月上中旬に成熟
す果は圓形で中の大、果皮は赤黄褐色で滑に斑点小なるも多い、果肉は
雪白色甘味多漿、質緻密で軟く一種の芳香あり、品質優良で一個の重量
七八匁にして豊産である、熟して樹上に止むるも品質を損せず然し
早害に罹りて果皮裂傷擦傷し易く收穫後二三週日ならずして腐敗果を
生じ貯藏困難なると比較的病虫害多いのは欠点であるが有望種の一で

ある三年目より結實し各種の整枝に適す、苗木は多少彎曲し節間距離短く樹皮緑褐色で秋芽稀であり、皮色帯赤淡茶褐色に斑紋少く皮面に痘痕の如き傷を生じ易きは特徴である、芽太く茶褐色で多少卵形又は稍扁平三角形を呈する。この品種は大師河原から出たものと稱せらる。

一、長十郎。樹性强健で枝梢中、能く側枝を生じ、花芽の着生よろしい各種の整枝に適し三年目より結實す、四月中旬に開花し八月下旬乃至九月上旬に成熟す果は中の大で六七十匁から百匁の重量である果皮淡褐色で陽部は赤色を帯びて美である、果肉は白色、質緻密、甘味多く硬粒少く食して口中に滓を残すことも少い芳香あり品質優良で收量も多いが果心から腐敗して外方に及ぼし爲に長期間の貯藏は不可能で且つ擦傷を被り易い欠点もあるが短期の貯藏には堪へ和梨中有望種の最たるものである、苗木は眞直長大普通先端太く樹皮帯黄緑褐色で幹元暗緑褐色なるも秋梢は帯淡茶褐色で斑紋小さく少い芽は樹皮に接着して尖上内向し爪状又は三角形をなす、この種は自花交配せぬ傾あるから混

植するがよい、これも大師河原で原産したもので岡山地方では満月と稱する。

一、早生赤。樹性强健で枝梢の生育は中様なるも花芽の着生良好で各種の整枝に適する、四月中下旬に開花し九月中下旬に成熟す果は中圓又は稍扁圓で果皮黄赤褐色に日光に面せる部は稍赤味の鮮黄褐色に大形の灰白粗点を有し果肉は微黄白色、多漿にして甘味強からず少しく酸味を帯び滓渣あり果重七八十匁内外、多産なり微酸の爲め損傷部直に黒變する傾向あるも貯藏に堪へ翌年三四月頃に至るも腐敗すること少し三年目より結果し始む、黒星病等に罹り易きの欠点あるも尙有望種の一なり、苗木は眞直にして節間短く樹皮黒緑褐色上部濃茶褐色のある秋梢帯濃茶褐色にて斑紋多く芽は太く長卵形に先端に毛を有し往々細長にて爪状なるあり直上向し梢端は多く太し。

一、今村秋。樹性强健枝梢の生育中にて側枝に亞枝を生ずるの特性あり花芽の着生長く、三年目より結實し各種の整枝に適す、花は四月中下

旬に咲き十月中下旬に熟し豊産なり果形大にて尖圓、暗褐黄色の粗皮を有し果梗短く果窪深く肩廣く尻尖り斑紋大にて果肉は白色、甘味多漿で久貯に堪ゆ。苗木は節間太く中様にして多少彎曲し皮膚は赤褐色に根元は緑褐色にて斑紋少く卵形茶褐色の太き芽を有す。

一、晚三吉 樹性强健、枝梢太く花芽の着生良好にして三年目より結果し棚作、『ピラミッド』、其他の整枝に適す花は四月下旬に開き十月下旬乃至十一月上旬に成熟す果は肩狭く蒂部膨れたる尖圓の大形にて外皮淡緑褐色に皮膚滑で、肉は純雪白色質緻密ならぬも柔軟で硬粒なく甘味多く微酸を帯び多漿香氣あり皮薄きも貯藏に堪へ果形稍不整なるも晩種としては品質最上の有望種である苗木は眞直長大で節間短く皮膚緑褐色にして新梢は光澤を有し暗赤色に斑紋少く芽は卵形にして太く梢端太し。

一、『パートレット』 樹性强健枝梢太く、枝の發育整正、幼樹は長果枝多きも樹齡と共に短果枝を生じ立樹、棚、盃狀作等に適し栽培容易

なり、花は四月中旬に開き九月上旬頃採收を初め採果後十日許にして食するを得豊産なり、果は壘狀にて淡褐黄色を呈し皮滑に濃茶褐色の斑紋を帯び果肉は白く、緻密にして柔軟、甘味に富み芳香を有し品質優良、室温三〇、度乃至三六度の時は翌年三四月頃まで貯藏するを得、苗木は眞直なるも撓み易く節間稍短く樹皮帯黄淡茶褐色に多少光澤を有し尖圓錐形の斜上向なる赤褐色の芽を有す。

一、『デュツセス、ダングレーム』 樹性强健、枝梢中にして盃狀、棚作等によし、四月中旬に開花し九月中旬より採收し始む採收後二三週間を経て食すべく豊産なり、果形壘狀下腹大にて淡褐黄色の果皮にて滑かなり、果肉は白色香味優美である、四年目頃より結實し短果枝及長果枝を生ず、苗木は眞直なるも節間稍折曲して短く樹皮帯黄茶褐色に多少光澤を有し尖圓錐形の傾上向なる芽を有す。

(ロ) 桃。

一、『アムスデン、ジューン』 樹性强きも、處により炭疽病に犯さる

ことあり枝梢中位で伸長水蜜桃類より短く側枝亞枝の發生多きも比較的短弱、結果枝上に單花芽のみを生ずること多く先端の葉芽の存せざるものがある、概して下枝の枯揚多く花は大にて四月上旬に開き六月下旬より七月上旬に採收す果は中の大殆んど圓形にて頂上平く、果皮黄白色熟すれば暗紅色を呈し日光を受けざる處は幾分綠色なり果肉は帶綠色にて半着核性、漿液多く甘味強、芳香に富み品質優良なるも採收後早々腐敗に傾く欠点あり、本種は米國種にして蜜腺圓形をなす。

一、天津水蜜桃。樹性强健、枝梢中にして旺盛直上す、花は大にて四月上旬に咲き七月中旬頃より成熟す、果は大にて心臓形をなし先端尖り毛茸多く果皮は紅色で果肉は鮮紅色にして核に接する点は淡白色なり離核性にて早收は酸澁なるも晩收は脆軟にて風味少なきにより稍早く採收するを可とす、この種は支那の種類にて蜜腺は腎臟形にて大である。

一、離核水蜜桃。樹性强健枝梢中にして枝張長く豊産花は大にて四月上旬に淡紅色を呈して開き七月下旬に熟す果は中大にて圓顆、果皮は熟すれば黄白色に一部紅色を帯ぶる斑紋多し果肉微黄色にて核に接する部少しく紅色なり質柔軟、甘味、多漿、芳香を有し離核性なり、本種は岡山縣の石谷氏の作成せるものにて蜜腺は腎臟形にて大なり。

一、上海水蜜桃。樹性强健にして枝梢大稍垂る、傾あり花芽殊に複芽の着生最も多く花は甚大にて四月上旬に開花し八月上旬より成熟す果は大にて殆んど圓形淺溝刻にして成熟せば陽面紅色を呈し肉質は淡白にて核に接する部分は紅色に、甘味多漿風味佳良にして着核性なり、花多きも歩止り甚だ少きにより袋掛は最後に顆の固定を待つて行ふべきである、この種類も支那の原産で蜜腺は腎臟形で大である。

一、「プレコーズ、ド、クロンセル」油桃に屬し樹性强健、枝條直立するの傾を有し開展せざれば整枝に注意を要す花は大にて四月上旬に開き七月中旬頃採收す果は中大圓形にて果皮鮮紅色光澤を有して美しく肉色は乳白にして甘味多く芳香佳良、離核性なり。

(ハ) 葡萄。

一、「ジエツシカ」|| 樹性稍強健、蔓皮褐色短節にして葉莖葉裏に毛を有し葉は厚く淺裂をなす、棚作、垣作によし果穂小にて粒は圓形中大黄白色を呈し果皮薄く肉稍緊り甘味多く酸味少く「マスカット」の芳香を有す七月下旬より八月中旬に採收す、米國種にして早熟種中の優品なり。

一、「レデー、ワシントン」|| 樹性强健、旺盛に蔓は褐色綿毛を有し節間短く龍鬚發達し葉莖淡紅に綿毛を帯び葉厚く濶大にして深廣の裂刻ありて葉尖きは鋭く裏毛多く密生す八月下旬より九月上旬に熟す果穂は大にして時に百五十匁に及ぶ岐肩四肩を有し粒は大にて扁圓にして比較的粗着す熟すれば帶黄淡綠色に白粉を被ひ果皮薄く肉軟かにして多漿甘味に富み品質優良にして栽培容易に且つ豊産なるを以て白葡萄中の中生種としては冠たり、採收後稍脱粒し易きと濕潤地にては病害に罹ると雖も尙本邦の如き雨多き風土に適する種なり、同じく米國種とす。

一、「チャムピオン」|| 米國種にして樹性甚だ強く果穂は中、粒は圓形中大にして黒色を呈し品質中位にて收量多く八月中下旬に成熟す。

一、「キヤムペルス、アーリー」|| 米國種にして樹性强健、蔓皮は褐色葉莖は紅色にて少しく綿毛を有し葉は濶大にして厚く深刻し三片に分る葉縁は淺き鋸齒状をなし裏毛を有す果穂は大に岐肩を有し果は圓形大にて稍密着す熟すれば濃黒色に白粉を裝ひ皮厚く肉緊り甘味強く酸味少し脱粒、果皮の破裂、等の患なく遠送に適す。

一、「ペーコン」|| 米國種にして樹性强健にして蔓は暗褐色に少しく白粉を裝ひ節間稍長く葉莖淡紅色にして僅かに綿毛を生じ葉の裂刻少く表面は鮮綠色、裏面の綿毛に白粉を被ふ果穂大にして大岐肩を有し顆粒圓形にして大、且つ密着す熟すれば濃黒色となり厚く白粉を被むる、果皮剛薄、肉は軟にして甘味多く酸味少くして微臭あり品質中にして收量多く八月下旬より成熟す。

一、「ダイアナ」|| 「カトゥバ」の實生なるべしと云ふ果穂大にて密着し

類は中位にて赤色を呈し肉は甘味多漿にて緊り一種の香氣あり、着色速かなるも完熟すること遅く、『カトウバ』に先つて成熟することなし

樹性强健にして果は長く樹上にあり貯藏に堪ゆ。

一、『ハイランド』 樹性强健、蔓は褐色節短く葉莖少しく綿毛を装ひ葉は潤大にして厚く深裂し裏毛を帯ぶ果穂大にて二百匁に及ぶものあり果は大にて圓形稍密着し熟すれば黒色を呈し白粉を装ひ皮薄く肉軟かに多漿甘味に富み少しく『ハーバート』に似たる臭を有するも品位

良、收量多く十月上旬より成熟し收穫期遅きを以て市價高し。

一、『スウキート、ウオーター』 歐洲種としては樹性强健なるも病害豫防に注意するを要す蔓は赤褐色或は淡褐色に微細の黒点を有し葉莖も滑かにして葉は薄く裂目を有し裏毛を帯び多雨の時は粉黴病に罹ることあり八月下旬より九月上旬に成熟す果穂は稍大にして果は圓形中大、黄白色を呈し一結果枝に三房を着く皮薄く柔かに肉も軟にて甘味に富み狐臭なく品質上位、收量多きにあらざるも價格に於て遙かに勝

れり垣作、株作、棚作に適す。

(二) 柑橘。

一、温州。 樹性は『ネーブル』、夏橙に比し強健ならざるも腐植質礫土にありては枝梢の數少く長く伸長し粘土にありては短枝數多く窒素を多用する時は枝の伸び長く果數比較的少なく厚皮にして皮肉分離し易し然れども粘質砂壤土に施肥其當を得れば果皮滑かにして薄く皮油の胞細く皮肉能く密接して橙黄色、肉は赤黄色甘味多く酸少し、十一月より十二月中迄に採收し翌春三四月頃まで貯藏するを得、無核にして品質佳良豊産なり類は扁圓なるも寒地に至るに従ひ正圓となる外皮と瓢囊とは容易に離れ瓢囊數は十ヶ時には十一二ヶあり。

一、『ワシントン、ネーブル、オレンジ』 樹性强健にして枝梢の伸長長く前者よりも早く大樹となり果は稍橢圓形にして大なり皮は剥ぎ難く橙黄色にて稍滑かに肉は黄色にして齒當り長く甘味強く無核にして瓢囊の數十乃至十二ヶ花窪部に臍の如き陷凹部ありこの点はなるべく

小にして瓢囊大ならざるを可とす香氣高く甘味に富み熟期遅く十二月に收穫す久しく貯へられ運搬に堪ゆ。

一、『バレンシア、レイト』 樹性强健にして枝梢前者より分岐多く果は尖橢圓形にして大なり黄色を呈し果皮稍滑、肉は赤黄色にして風味は『ワシントン、ネーブル』に類似し多産にして少しく核を有す四月より七月頃までに採收す。

一、夏橙。 樹性强健にして枝梢太く伸長良好なり果形圓く大顆なるも稍扁圓なるもあり、果皮厚く油胞隆起し凹凸ありて果面粗なり暗淡黄青色にして砂瓢短大酸味強く瓢囊に苦味あり花は他の柑橘と同時に開くも果は越冬して春温と共に甘味を増加し三月頃より六月頃までに收穫し多産にして核多し。

(ホ) 柿。

一、衣紋澁。 樹性强健にして枝梢中、枝張能く豊産にて四年目より結實す果は大、扁圓、重量七八十匁あり横断面は殆んど四角にて四條の淺溝を有し頂部は稍凹なり外皮淡紅黄色にして果肉柔粘緻密にて核子なく十月下旬に採收す酈柿、烘柿等として味甘美上品なり。

一、西條(澁)。 樹性强健、枝梢細く結果早く豊産なり果は中圓筒形にて頂部尖る果皮は紅黄色果肉は緊り澁味強く核極めて少し肉質細微なるを以て樽柿として品質優良又乾柿としても飴色に白粉を装ひ極めて佳良なり十月中下旬に熟す。

一、葉隱(澁)。 樹性强健にして枝梢中、枝張長く豊産なり果は稍扁圓にして紅色なり肉質細微にして飴黄色を帯び澁強く乾柿、樽柿として甘味多く風味佳良十一月中旬に採收す。

一、甲州百目(澁)。 樹性强健、枝梢稍太く伸長長く大形種としては豊産なり、果は大形にて尖圓、尖端に少しく黒紋あり多肉にて核少く乾柿に製し飴色とならずして黒味を帯び品質余り可ならざるも酈柿としては最上たり四年目より結實し十月下旬より熟す。

一、横野(澁)。||樹性强健にして枝梢稍太く勢力旺盛、結果枝の生成良好なり美果を産すれども果の大なるを以て果數に於ては餘り豊産ならず果は大、扁圓形に果頭微に凹み紅黄色を呈し肉質細微ならざるも多漿にして齒切れ長く樽柿として最優良たり、四年目より結實し十一月中下旬に熟す。

一、蜂屋(澁)。||樹性强健にして枝梢細く果は大なる割合に豊産なり、大果、圓錐形にして頂部尖り大なるものは百日に及ぶもあり外皮紅黄色、頂部に近き處に蜘蛛巢狀の黑色條斑あり果肉黄色、軟く澁氣強きにより白柿に適す、又追熟せしむれば甘味にて味美なり、無核のもの多く核子あるも小にて少し、肉質稍粗にして果心の大きなるは少しく欠点とす、乾柿としては飴色半透明となり果纖結晶狀をなし風味優美又樽柿としても味可良、十月下旬より十一月上旬に熟す。

一、富有柿(甘) ||樹性强健、枝梢中、にしてよく伸長し四五年目より結實す結果枝の生成よろしく果は大扁圓にして横野柿に酷似し、本御

所より稍腰高く横断面は圓形、色澤帶黄朱紅色、にて頗る美、よく熟すれば紅色となり果面は斑点を有せず果肉も朱黄色にて柔粘適宜の漿液あり甘味濃厚なり、若樹のものは四五ケの種子あるも老樹には一二ケとなり又若樹は核に多少褐斑あるも老樹にはなし尙若樹にても澁味を有することなし十月中旬より採收し十二月下旬まで樹上にありて風味を害せず普通十一月上中旬を適期とす品質の優良なると豊産強性なるにより甘柿中の最上たり、この種を又水御所と稱し岐阜縣本巢郡居倉地方より出でしと云ふ。

一、次郎柿(甘) ||樹性强健、枝梢中にして四五年目より結實す結果枝の成生可良なり果は大、扁圓にして稍方形をなし熟すれば黄紅色を呈し褐斑なく品質、佳良、富有柿と等しく若樹と老樹との果は異なるも年と共に上進し前者に劣らざる優良種にして種子は殆んどなく十一月初旬に熟し收穫中位なり。

(へ) 枇杷。

一、田中枇杷。樹性强健にして枝梢太く、側枝少く伸長旺盛なり果は六月末に熟し倒卵の大果にして黄色を呈し果粒は果穂の枝頭のみ止まり粒付粗なるも一個二三十々に及び稍酸味あるも甘味に富み果穂大なり但し果穂の少きを欠点とす。

一、茂木枇杷。樹性强健にして前者の如く枝梢の伸長旺盛ならず葉稍細小樹姿直立す、果は長卵形大にして橙黄色なり粒付粗なるも品質上等、六月中旬頃に熟す、又長崎長とも稱す。

一、立花枇杷。樹性强健にして枝梢の分岐發生長く従て豊産なり六月中旬に熟し果は大にして黄色を呈し一個二十余々に及ぶものあり粒付良く甘味に富み風味佳良なり。

(ト)、無花果。

一、「ホワイト、ゼノア」。樹性强健枝梢の發育旺盛にして葉は欠刻深く淡色、果は大にて卵圓、褐黄色を呈す夏季は結實少く秋に頗る多し秋

果は九月頃より採收す品質よく、豊産なるも果の先端部のみ早く熟するの欠点あり。

一、「ブラオン、ターキー」。樹性强健、枝梢中にして側枝長く生じ夏秋の二季共によく結實し葉毎に結果して甚だ豊産なり、果は中大にて卵圓形、紫褐色を呈し味上品なり。

(チ)、李。

一、寺田李。樹性强健にして發育旺盛、往々炭疽病に罹ることあり、果は中大尖橢圓形、にして果皮は黄赤色、果肉は黄色を呈し柔軟多漿にして一種の香味を有し豊産にして四年目より結實し八月上旬頃より收穫す味美なり。

一、萬世。樹性强健にして枝梢の伸長長く結果枝長く生じ豊産なり果は大にして扁圓、果頭凹み果條分起し紫赤色にして品質極上にはあらざるも豊産種なり。

一、米桃。樹性强健にして炭疽病に犯され易し七月中旬に成熟し果は中大、尖圓形の淡紅黄色にして果肉は紅色を呈し品質上位、豊産にして結果早し。

(リ) 苹果。

一、紅魁。樹性强健にして枝は太く直立し側枝を生ずること少し五六年目より結果し初め頗る豊産種にして果實は密着し七月上旬より八月中旬頃に成熟す、果は中大殆んど圓形、梗端稍扁平、蒂狭小、梗窪は淺にして蒂窪淺く底より果心に小孔を通ず、果皮深紅色を呈し間に紅條を有するありて果面に白斑点を散在す果實は白色稍粗に脆軟酸味稍強きに過ぐるも芳香あり、心環大にして肩張り心は小さく開虚し子室大にして二子を孕むもわり早生種にして盃狀形仕立に適す。

一、祝。樹性稍弱く枝細く、發育旺盛ならざるも枝密生し側枝を發生し長果枝、短果枝共によく生ず、自然に生長せしむれば樹姿は圓錐形を

なす、『ピラミッド』、盃狀、及棚作等に適す四年目頃より結實す、果は中の大にて橢圓形、肩高く、梗窪狭小にして深く果梗の本殊に大に稍長く、蒂端平にして蒂窪深大、蒂は緊結せず、果面滑かに美しく果皮は黄色地に紅條を粧ひ梗端即ち成莖に近き部分に紅條斑あり熟すれば全面殆んど紅色となり白斑を有し柳玉に似たり、肉は帶黄白色、質軟かにして甘味多漿酸味少く稍香氣あり子室稍大に一室二子を孕み子實小圓なりこの種の樹は綿虫の被害多く腐敗、銹病等に犯され其他の虫害ありと雖も栽植地の乾燥と密枝の剪除に勤めば比較的是等被害を免かるゝを得べし、中熟種にして八月下旬乃至九月中旬に成熟す。

(ヌ) 櫻桃。

一、ナポレオン、ピカルロー。樹性强健にして長く枝梢發生し六月末に成熟す果は尖圓甚大にして果皮帶赤黄色を呈し肉緊り品質上にして豊産なり。

一、「ピカロー、グラン」樹性强健にして枝梢長く伸長し果は心臟形の大顆にして五月中下旬に熟し深紅色を呈し肉緊り品質上、收量多し。

〔三〕 風 土。

果樹は種類によりこれに適する土質地勢一ならぬも南面の地は日當良好であるから概して南方の傾斜地がよい、又海岸で塩風の荒く吹かない場所は氣候温暖であるから高温を要する柑橘などが適するが、又枇杷、や柿などは塩風の被害は稀なものである。

尙果樹は腐植質に富む處では生長強盛で徒長すること多いからこれの少い排水の良い傾斜地を好むのである、それであるから肥沃の地とか、腐植質に富む地には窒素肥料の施用を少くして磷酸、加里、を多くして枝幹を硬剛に成長せしむべきである。

各種の果樹とこれが適土とを見るに概して、

柑橘—傾斜地の礫土、(殊に温州は然り)、

梨—各種殊に砂壤土、(洋梨は有機物少き礫質土)、

柿—礫土、埴土、壤土、

桃—砂土、砂壤土、礫土、(殊に瘠地)、

枇杷—各種の土性、就中傾斜地の礫土、

葡萄—排水良き傾斜地の礫土、埴土、砂壤土にて有機質少き地、

無花果—各種の土性、

苹果—暖地は瘠薄の埴土、砂土、礫土、

櫻桃—暖地は瘠薄の硬土地、

李—各種殊に砂土、砂壤土、礫土、

氣候の乾濕、雨量の如何などは果樹の生育に關係すること殊に大なるもので降雨が多いと枝幹の成長旺盛で結果枝の生成遅く且つ病蟲の被害も大である、我國內地では歐洲葡萄の栽培が困難であるのに朝鮮では比較的容易であると云ふのも一はこれである。

又果樹は温度にも多大の關係を有するもので柑橘類の如きは平均攝氏十五

度以上でない結果がよくない、これに反し苹果や櫻桃は温度高過ぐる爲に當地方での栽培は東北地方の如くに容易でない又品質も不良である。

〔四〕 植付方。

- (イ) 地拵 〓 平地に果樹を植付けんとする場合に排水不良の處は先づ排水溝などを設けて後全地を耕起して土塊を碎き栽植すべき個處には二尺四方位の穴を掘つて更に丁寧耕耨すべきであり、又傾斜地で殊に急傾斜の處では幅二間か一間半位の段を設けて土砂が雨水の爲に流出するを防ぐ様にして開墾するがよい。
- (ロ) 植付時期 〓 概して秋落葉後から春發芽前までの間ならば何時でもよいが暖地では秋の落葉後直に栽植するが生着よろしい但し柑橘は寒さの爲に傷み易いから春季發芽の少し以前頃が安全である。
- (ハ) 植付距離 〓 これは果樹の種類、品種や土質、栽培の方法などで一定せぬのは他の普通の作物と一般同一原理に従ふべきものであるが二間四方

に一本位(反當七十五本)は大凡の標準である、但し同じ種類でも瘠薄な土地とか或は矮性砧木のもものは一間半にても可なるべく又同じ柑橘類でも温州は成長鈍いから密植でよいが夏橙や、「オレンジ」類は成長速かであるから普通の處では二間半乃至三間四方に一本位の割合で稍粗にする様心掛くべきである、それで二間方なら一反歩に七十五本、一間半方なら百三十二本、一間半に二間なら百本の割合である、其他種々の整枝法をなす場合にはそれ相當の距離がある。

- (ニ) 植込法 〓 自然のままの苗木の根は其配列が不規則であり又長大の根は栽植に不便且つ新根の發生が不良であるからこれを植うる前に下方に向いた根、直根、及接着部附近から生せる根などはこれを切り四方に伸長した根は適宜の長さに剪去するがよい、但し柑橘苗は其根を切ることを極めて少く或は全く切らずに植うることもある、尙根を切ると同時に地上の幹身をも亦適宜一尺から一尺二三寸乃至は三尺位に剪定し置くべきでこの長さも土質や、品種や整枝法などで異なるが桃などは低く、苹果な

ごは高くする。
斯くして植うべき場所に穴を掘り根の曲らざる様又幹身を真直にして、なるべく浅植とし接着部が地上に出づる様にして置くべきで、三寸位の深さが普通である若し深植にすると成長も不良で又接穂から根の發生する患もある、植込み済んだなら倒伏せぬ様、支柱を立て、置くのである。

〔五〕 肥料

果樹も同じく相當の肥料三要素を要するもので就中窒素分に欠乏すると枝條の發育不良従つて良果を得られぬが、然し多過ぐると枝梢の發育旺盛で結果が遅く落果することも多く、病蟲害にも犯され易い、それで果樹は肥沃地よりも瘠地で栽培するが安全であると云ふのもこれが爲めである。勿論果樹の種類、品種、などで生長力に大差あるものであり又土地の肥瘠や樹齡によりても施肥量を定めねばならぬが概して比較的多くの肥料を要するものは柑橘、枇杷、柿、梨で割合に多く要せないのは苹果、桃、李、無

花果、櫻桃、で葡萄などは中當である、其中でも柑橘は最も多く肥料を要して桃は最も少くて足るものである、然りとて桃などには常に肥料は少量で可なりと云ふのではなく盛に結實するに至らば相當に多量の施肥を要すべきものである、又洋梨は日本梨に比し樹の生長盛であるから施肥量を節減すべきである。

施肥の適量を知ることが大切であるが其分量は前述の如く種々の事情に關すること大であつてこれを一定すること困難であるが今一二の標準を示すと、

一年生苗を植へ反當七十五本の割合の時には肥料三要素分は各五百匁内外を要し

種類	分量
堆肥	四五、〇〇〇
人糞尿	四八、〇〇〇
過磷酸石灰	二、四〇〇

木 灰

三、〇〇〇

或は又次の肥料を用ふるとせば

種 類

分 量

餅ノ粕

五、〇〇〇

過磷酸石灰

二、〇〇〇

木 灰

四、〇〇〇

次に梨樹八年生の反當施肥量は窒素三貫六百匁、磷酸、加里は各四貫二百匁を割合とし

種 類

分 量

大豆粕

三〇、〇〇〇

下 肥

二七〇、〇〇〇

過磷酸石灰

二二、五〇〇

木 灰

二七、〇〇〇

又柑橘類にては十五年生位ならば反當窒素三貫二百匁、磷酸、及加里は

三貫八百匁位にして廿二年生内外のものは窒素四貫三百匁、磷酸、加里は五貫許とし、

種 類

十五年生

二十二年生

餅ノ粕

一五、〇〇〇

二五、〇〇〇

大豆粕

二五、〇〇〇

三〇、〇〇〇

過磷酸石灰

二〇、〇〇〇

二四、〇〇〇

木 灰

三五、〇〇〇

三六、〇〇〇

桃七年生にて反當七十五本植とせる肥沃の平地では

種 類

分 量

大豆粕

一〇、〇〇〇

下 肥

一五〇、〇〇〇

過磷酸石灰

一五、〇〇〇

木 灰

二〇、〇〇〇

柿七年生にて反當七十五本植の平地にては

種類	分量
鱈メ粕	二三、〇〇〇
下肥	七五、〇〇〇
過磷酸石灰	一〇、〇〇〇
木灰	一五、〇〇〇

葡萄米國種八年生反當にて三百六十本植二段垣根作にては

種類	分量
鱈メ粕	二四、〇〇〇
大豆粕	一二、〇〇〇
過磷酸石灰	一五、〇〇〇
木灰	二四、〇〇〇

施肥するに原肥は發芽前二三月頃とし追肥は一定せぬも五六乃至七八月頃にして其原肥は總量の五分二乃至五分三を用ひ追肥は一回又は二回に分與し下肥の如き速效の種類を選ぶべく、又温州の如きは十年生位まで

は夏季に追肥し其後は春一回原肥を施すのみにて可なるも其他の種類は總て追肥をなすを要す、桃の追肥期は核の硬化後をよろしとす。肥料を施用する方法は樹の周圍に樹幹の周り三倍半位の半徑の距離を以て幅五寸深さ六七寸の輪溝を掘り或は柑橘、梨などの類にては其樹枝の擴がれる境界を輪形に溝を穿ちて一様に肥料を撒布して被土すべきである。

〔六〕 剪定

剪定の目的とする處は不用の枝芽を除去して生育を平均ならしめ樹形を整へ以て良好なる果實を毎年多く生産せしむるにあるのである、それで剪定の季節は夏季剪定とて徒長枝摘心、剪梢、燃梢、摘葉、等の如きは果樹の生長中隨時行ふものなるも其他の冬季剪定の如きは一二月頃を適とする。
イ、柑橘類は主として前年春伸長した枝の芽が本年伸びて其尖端に結實しこの結果枝には次年結果せずして種枝を生ずる性であるこの剪定を行ふ

には先づ徒長枝が発生したなら夏季に一度摘心し二月頃に其全長の三分一を残して他を切り去るべく、又柑橘は一の葉腋から二三枝を発生する性ある故是等密枝中發育不良の小枝は全部剪去するがよい其他結果枝の剪定には本年結實した枝は其長短により三乃至六七芽を残して剪定すると翌年には大概枝條の基部から完全な種枝を發生する、尙柑橘樹の内部には抱き込まれた所謂懷枝フニコロエダは完全な生育を遂げぬのみならず空氣の流通や日光の透射を妨ぐるものであるから総て剪り去るがよい。

(ロ)、梨は本年伸長した枝條に花芽の生ずること極めて稀にて明年この枝梢に花芽を有する短き果枝を生じ其翌年初めて結實す、梨にて側枝剪定を行ふには主枝上の腋芽が伸長して五月頃七八寸の長さに生長した頃先づ六七葉を附して第一回の摘心を施せば間もなく頂端から二三の新枝を發生する故又二三葉を附して二回目の摘心を行ひ斯くせば下部に存する腋芽は此摘心によりて發育し時としては同年内に花芽となる事あるも、多くは葉芽の發達せる中間芽となるもので翌年更にこの方法を反覆せば大

部分花芽に變ずるに至るのである、而して冬季剪定に於て花芽を有するものは直に其上部から剪去し然らざるものは四芽乃至六芽を残して剪定し中間芽となれるものは上部二三芽を残して剪定すべきである。

又一側枝上に數個の花芽を着生する時は基部一二の花芽を附して剪定し其他一所に數多の花芽の群の生じて所謂薑芽となれるものは其内適當のもの二三を残して剪定するのである。

(ハ)、柿は前年生の頂芽及これに次ぐ數個の腋芽が伸長して開花結實この結果せる枝の頂芽及腋芽は翌年結實せず休み枝となり翌春伸長して種枝となるもので尙其結果枝には二三葉目から五葉までに各一顆を着生するのであるから此結果した枝は基部の健全な二三芽を残して折り取り又は剪定して次年の強壯な種枝を生せしむべきである、其他柿は一般に短小の枝が簇生して種枝を生せぬ傾あるから春夏の季に冗枝を折り取り又は摘去して密枝を除くがよい。

(ニ)、桃は本年生の枝條に出來た花芽に明年結果する性であつて一度結果せ

る枝には其後更に結實することないからこの古枝は毎年剪去する要がある。

桃の夏季剪定を行ふには初夏五六月頃に新芽は伸びて繁茂するから内部にある小枝又は盃狀形にて内部に發生するものは何れも長くならぬ内に剪除し、適當な個所に生じたる強健な枝條は六月上中旬頃に枝元二三芽を残して剪定する時は直に伸長して全年内に完全な結果枝となり得るのである、結果した枝の上方から出る新葉は四五葉伸長したる時三葉を残して摘心し以て果實の豊大を計ると共に下部より發生する來年度の結果枝の生長をも適當ならしむるのである、又適當に生長せる次年の結果枝も六月中旬より七月中旬頃までに各十二三葉を残して摘心すれば伸長を暫らく休止し枝上の葉は刺戟を受けて多く花芽に變ずるものである。冬季剪定としては冗枝即ち葉芽のみにて花芽の有せざるか又は枝條の先端に一二の花芽を有するもの等は枝元二三芽を残して剪定するがよい、又完全に花芽を有する結果枝も七八芽位にて剪るべきである、其他一側

枝上に葉枝と果枝と兩者生せる場合には冬季剪定にて主枝に最も近き果枝を残して葉枝は総て剪去するのである。

(ホ) 葡萄は本年伸長せる枝充實すれば明年この枝梢にある各芽伸長して其新梢に開花結實するのである葡萄の剪定には長梢剪定と短梢剪定の二種ある前者は種枝を普通八乃至十二節即ち二三尺の長さに剪定し各腋芽より多くの結果枝を生せしむるので勢力強盛な米國種の棚作り、垣根作りの仕立に適し短梢剪定は種枝を長くせず單に基部二三芽を残して剪定するのでこの法は歐洲種に施すに適す、兩者何れにせよ種枝より春季結果枝を生ずるに至らば適當の位置に配列して支障物に纏絡し結果枝稍木質化したる頃即ち一尺五寸乃至二尺位に生長せば最後の穂より三四芽の上方面にて摘心して果實の生長を促すがよい、豫備枝は翌年の結果種枝なるにより生長中殊に注意して發育を完全ならしめ、若し勢力弱き場合には花穂を剪去して結實せしめぬをよしとす、三四尺に生長せし時に第一回の摘心を行ひ再び發生せる枝條は二三芽にて摘心すべきである、枝蔓の

各部より發生する枝梢は三四葉にて剪定し再生する毎に一二葉にて摘心し冬季剪定にて基部より剪り去るのである。

以上の外李類の結果枝の生成は桃に類し苹果は梨に類すべく又無花果には本年末まで伸長して休止したる頂芽附近にある小果が明年春生長を始めて夏季に熟するものと本年生の新梢の各節に結實して秋季に成熟するものがある。

〔七〕摘果。

開花結實の儘放任すると果實の良品を得られぬのみならず樹勢が甚しく衰弱して翌年の不結果を來すから摘果する要がある、それで柑橘類の大果種は一結果枝に一個、小果種は二三個を残して他は総て摘除し、桃では果の蚕豆大になつた頃一の結果枝に普通二個位着果せしめて其他は悉く除去するので果實と果實の間隔が五寸内外となるを度とする、又梨などでは其摘果を二回位に行ひ一花序に一二顆を留むる様にす、勿論其摘去すべき顆は

發育不良のものや、虫のついたものや、枝の力を見て撰ぶべきである。

〔八〕袋掛。

心喰虫などの害を防ぐ爲に梨、桃、葡萄等の果實に袋掛を行ふを要し、其時期は種類や、土地、氣候などで差異あるが要するに其害虫の産卵前に行ふべきでこの時機を失ふと効果が少い。

これに用ふる袋は新聞紙又は楮紙の反古で作つて柿澁を塗つたもので成熟までに長い時日のかゝるものは丈夫な紙を用ひたがよい其袋の大きさは顆物の種類によりて異なるもので尙袋と云ふも底を張る必要はない、而して摘果即ち間引をやつてから袋掛をするので袋をくゝるには蘭草とか、廿四番位の細い針金を用ふる、総て袋掛には袋の中に葉を包み込まぬ様にすべきである。

〔九〕病虫害驅除豫防。

果樹にも病虫害が多い、是等を驅除豫防する方法や藥劑には種々あるも最も普通なのは殺菌劑としては「ボルドウ」液で、驅蟲劑としては石油乳劑である、即ち「ボルドウ」液は空氣傳染によりて起る果樹の病害例へば梨の赤星病、柑橘の瘡痂病、桃の縮葉病、葡萄の露菌病、白澁病、黒点病等の豫防に撒布して效あるし、石油乳劑は介殼蟲類には冬期は三倍乃至五倍、夏期は七倍乃至十五倍、綿虫類には十五倍乃至二十倍、蚜虫類には二十倍乃至二十五倍位に稀釋したものが驅除劑とするに適する、其他石灰硫黃合劑は諸種の病害豫防、各種の介殼蟲類の防除に甚だ有效であるがこれは製造に稍手数を要する欠点がある、又介殼虫類、綿虫等の驅除として青酸瓦斯煙蒸法をも行ふもので苗木などにも施すが有效なる方便の方法である、是等藥劑の調合等に関しては別に本場での印刷物があるからこれを参照せらるべきである。

大正二年一月五日印刷

大正二年一月十日發行

福岡縣立農事試驗場

福岡市下名嶋町五十三番地

印刷者 大隈 壯太郎

福岡市下名嶋町五十三番地

印刷所 大隈活版印刷所



終

